



広報

なかくすく

Nakagusuku

URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>



なかくすく

No.123
2003.11.20



大切にそだてますっ!

津森小学校で取り組んでいる「命の学習」に役立ててほしいと北上原のはごろも牧場(新城将秀代表取締役社長)から二頭の子ヤギが贈られた。「いつか一緒に散歩ができたらいいね」と子とモ達は、かわいい子ヤギにくぎ付けになっていた。



体験 ～寄席芸能公演・松山バシエ団～



文化庁の本物の舞台芸術を体験する事業の環として十月二十二日、吉の浦会館で落語技術協会の寄席芸能鑑賞が行なわれた。

この事業は、次の世代を担う子ども達に本物の芸術や芸能に触れる機会を設けて感性を育てようとするものである。

出演は、落語会の重鎮、桂文治さんをはじめ、桂

平治さん、春風亭柳好さん、マジックの小旭齋小天華さん、曲芸のボンボンブラザーズの方々で、素晴らしい芸を披露していただいた。

懸賞の前に、太鼓と三線で水の流れる音を表現するなど、様々な場面に登場する寄席音楽が紹介された。特に怪談の際に登場する音楽に子ども達は興味を示し、会場を代表した生徒が実際にその音楽に挑戦した。

鑑賞を終えたあと、津覇小学校六年生の大城桃子さんは、「春風亭柳好さんは、子どもの役を演じる時、本当に顔も声も子どもになりきって



いてびっくりした。落語がこんなに楽しいとは思わなかった。また、桂文治さんは、話方がすごく上手で、豆を食べる様子や、そばの食べ方など本当に食べているようで感動した。落語は難しいというイメージがあったけど、とても楽しかった」と感想を述べた。

会場には、津覇小学校・中城小学校六年生、中城中学校三年生、来賓者あわせて四〇〇名が詰め掛けた。鑑賞した子どもの中には、あまりの面白さに涙を流す子もあり、沖縄ではなかなか鑑賞できない寄席芸能を満喫した。

本物の芸能を

十月四日には、寄席芸能と同じく、文化庁の本物の舞台芸術を体験する事業の一つとして、中城小学校で松山バレエ団によるクラシックバレエの講演が行なわれた。

「眠れる森の美女」や「白鳥の湖」、「ロミオとジュリエット」、「くるみ割人形」といった演目のみどころを集めたスペシャルプログラムで構成されており、きれいな衣装で着飾ったバレリーナ達に児童らの目はくぎ付けになっていた。

くるみ割人形の中では、同小学校六年生の比嘉成美さんと新垣美咲さんの二名が、お菓子の国のピエロの役として松山バレエ団と共演するシーンもみられた。二人は、六月から



ビデオなどで練習を積み重ねてきており、「本番ではとても緊張したけど、バレエ団の人たちはみんなやさしく、上手に踊ることが出来た。この体験は、生忘れないと思う。すごくいい経験をした」と本物の舞台に立てた喜びを語った。また、安里あいさん（四年生）は「バレエは言葉を使わずに、踊りだけで感情を表現するので、とても難しいけれど、つま先だけで踊ったり、回転したりととても上手に踊るので感動しました」と普段見ることが出来ないバレエ講演を鑑賞できたことを喜んだ。

また、知名朝士君（四年生）は「今までバレエには全く興味がなかった。お辞儀の仕方が男性と女性で違うことが面白かった」、安里あやさん（四年生）は「松山バレエ団の演技をみて、バレエリーナになりたいと思った」とそれぞれ感想を述べた。

このバレエ講演では、音響・舞台とも本格的な機材が設置され、いつも通いなれてる体育館が本物のバレエ講演会場として、変していることも、子ども達に夢と感動を与えた。





中城村陸上競技大会



▲ 一般男子200m23秒42
知念和巳(添石)さん



	一般男子	女子	壮年
1位	久場 66点	和宇慶 54点	久場 79点
2位	和宇慶 56点	登又 38点	新垣 35点
3位	添石 54点	屋宜 32点	和宇慶 26点
4位	登又 51点	伊集 30点	屋宜 26点
5位	伊集 38点	添石 29点	添石 25点
6位	泊 35点	久場 27点	南上原 24点

十月五日、村陸上競技大会が吉の浦運動公園で行われた。大会には十六字が参加しトラック・フィールド競技とも各支部代表の熱戦が繰り広げられ、また小学生リレーや壮年短距離には各支部とも熱い応援がおくられた。

一般男子二百mでは知念和巳さん(添石)が二十三秒四二と新記録をマークしている。

結果は一般男子一位久場、女子一位和宇慶、壮年一位久場であった。二位以下は次のとおりです。

老後に安心! 新農業年金に加入しましょう

新農業者年金の特徴

- 特徴1・・・農業従事者なら誰でも加入できます。
- 特徴2・・・政府支援対象者など保険料の一部を国が補助します。
- 特徴3・・・80歳保障付終身年金です。
- 特徴4・・・税制の優遇措置を利用して節税できます。
(毎年最大80万4千円の所得控除)
- 特徴5・・・積立方式(確定拠出)で年金原資は長期に安定した運営を行います。



お問い合わせ:中城村農協委員会 895-2131

20歳になったら加入手続きが、 種別変更の際は届出が必要です。

■20歳になったら加入の手続きを!!

「老後なんてまだ先のことだし…」と思っているあなた、国民年金には障害基礎年金もあることをご存じですか？スポーツやレジャーなどで思わぬアクシデントに巻き込まれ身体に障害が残る可能性は、むしろ行動的な若い人に多いといえます。老後のためだけではなく、万一のとき障害基礎年金を受けられるよう、20歳になったら必ず国民年金に加入し、保険料を納めましょう。

加入の手続きは

第1号被保険者は→市町村へ

第2号被保険者は→勤務先が行いますので本人が
手続きをする必要はありません

第3号被保険者は→配偶者の勤務先に届け出ます

■会社をやめたとき

退職して、自営業になったときや次に就職するまでに間がある場合は、第1号被保険者に変更になります。

届出を忘れて未納期間をつくってしまうと、将来年金額が減額になったり、資格期間が足りなくなりせっかく納めた厚生年金保険料が“掛け捨て”のかたちになってしまいますので、ご注意下さい。



こんなときは、必ず届け出を

こんなとき	届け出先
・会社員や公務員などになったとき (扶養している配偶者がいるときは、一緒に届け出を)	勤務先
・転職して、別の会社や役所に就職し、厚生年金から共済組合、または、その逆に変わったとき(扶養している配偶者がいるときは、一緒に届け出を)	新しい勤務先
・会社を退職したとき/転職して自営業者になったとき (扶養している配偶者がいるときは、一緒に届け出を) ・会社を退職して自営業者の妻になったとき ・会社員などの夫と離婚したとき/年収が130万以上になったとき/夫が死亡したとき	市区町村
・会社員などと結婚して扶養されるようになったとき	配偶者の勤務先
・住所・氏名が変わったとき	第1号被保険者は市区町村 第2・3号被保険者は勤務先



民俗だより

第9号

戦争遺跡「二六一八高地陣地」

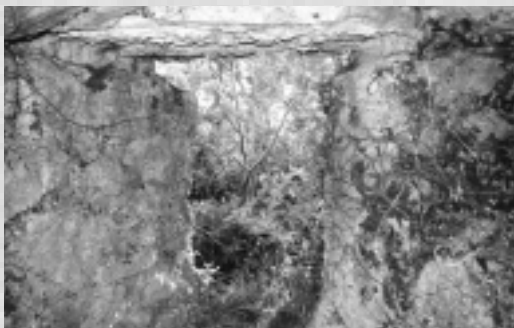
北上原の「ウガムイ」と呼ばれている岩山（消防学校裏）の頂上に、日本軍が構築したとされる高地陣地が現在も残っています。陣地の上に登ってみると、見晴らしが良く、遠く北谷町、読谷村一帯まで一望することができず。今回は、この一六一・八高地陣地と称される戦争遺跡が、どのような経緯で構築されたのか、またこの周辺の戦闘状況はどのようなものだったのかについて、当時の状況を詳しく知る方にお話を聞きました。

ウガムの陣地構築

昭和十七年十一月頃、北上原には第九師団（武部隊）がテントを張って駐留していましたが、まもなく台湾へ移動しました。当時、武部隊は最強の部隊と言われていたため、村の人々はその部隊の移動をたいへん心配したようです。しかし、その後、第六十二師団（石部隊）が入ってきました。その「石部隊」の賀谷興吉中佐率いる「賀谷支隊」が、中城村から越来村あたりまでの防衛を管轄しており、北中城村大城の中

村家に本部を置いていたといっています。この賀谷支隊（石部隊）は、陣地構築のため、当初は北上原の比較的大きな民家を拠点に、兵隊だけで作業していました。その後、徴兵

されない三十代以上の人が駆り出されるようになりまし。この陣地構築作業の中心を担ったのが、北上原出身で石大工をしていた米須清喜さんです。米須さんはかつて県外に徴兵され、沖繩に戻って来たところを駆り出されたということです。作業にあたったのは石工五、六



内部から見た陣地入口



陣地の内部

人を含め、住民二十〜三十人ほどでした。軍から、出来るだけ自然の形に近い構築をするよう、命じられたそうです。この時の資材は、軽便鉄道の鉄骨と松の木がコンク



陣地の下にあるガマ

リートを支えとして使用されました。また、この陣地の下にはガマがありますが、それは構築作業の際、岩盤を割ったときに出現したものであること。そのガマも日本軍の陣地として使用されました。

輸送・運搬と資材調達

この陣地構築に関連して、北上原出身の城間盛栄さんは次のように話しています。当時、城間さんは荷馬車を所有していたため、宇泊にあった中城村荷馬車協会の班長として軍に派遣されることになり、乗馬を担当することになりました。大城（北中城村）に集合させられた荷馬車を、石部隊の各支隊に分散する仕事を与えられました。

その時の日給は荷馬車が十四円、乗馬が十六円支給されました。当時の村長の月給が八十五円だったということですから、それに比べてみると高額な報酬をもらっていたようです。

昭和十九年になると、城間さんは村役場の森林協同組合に引き抜かれました。そのころ、日本軍は陣地構築のため、中城村のほとんどの松林を無許可で伐採していました。この伐採した松の根っこを石（こく）計算し、代金を県の林務課に請求し所有者に支払うというのが、城間さんの任務でした。その時の月給が五十五円で、特別待遇扱いだったといえます。この頃までは、徴用された人たちには、いくらかの報酬が支払われていましたが、沖繩戦が近づくと頃になると報酬はなく、厳しい労働を強いられることになりました。

ウガン周辺の戦闘

では、ウガン周辺の戦闘はどのような状況だったのでしょうか。賀谷支隊直属の防衛隊として同支隊と行動を共にしていた城間さんの話をもとにまとめると次のようになります。

米軍上陸前の三月三十一日の晩に、城間さんは、北谷村の桃原に配置され、夜明けごろまで陣地構築をしていました。その時は米軍が上陸したことに気づかず、機銃掃射

されて初めて上陸を知ったそうです。四月一日には、屋宜原の壕（現在のぐしけんパークの辺り）に逃げ込みましたが、米軍の戦車がすでに島袋周辺まで迫っていたので中城跡に移りました。二日には米軍は中城跡まで攻め込んできたため、夜になってウガンに後退し、そこで一泊しました。ガマの中は日本軍しか入ることが許されておらず、城間さん等防衛隊は、外で野宿したということでした。

四日の朝三時頃、一六一・八高地陣地から登又方面を覗いてみると、米軍の戦車隊が高地陣地めがけて迫って来ました。しかし、その時までは日本軍は攻撃をせず、城間さんがウガンにいた時点では激しい戦闘はなかったそうです。五日にそこを離れたが、その後ウガン周辺で日米の戦闘が行われたのではないかとのことです。本格的な戦闘が行われたのは南上原の糸蒲周辺で、そこでは多くの兵隊が亡くなりました。その後、城間さんは賀谷支隊と大里村あたりまで共にし、摩文仁で捕虜になったということでした。

多くの兵士が眠る「糸蒲の塔」

糸蒲周辺では、多くの兵隊の遺骨が、畑や溝などに散乱していたため、爆弾による跡と思われる窪地に石囲いで塔を作り、収骨した遺骨を安置したそうです。しかし、

その後も青年会を中心とした地域住民により、南上原周辺から次々と遺骨が集められました。

南上原青年会は、集められた遺骨四五〇柱を安置するため、昭和二十六年二月、独立歩兵第十一大隊と歩兵第二十一大隊第一中隊が戦った地、多くの戦死者を出した地、糸蒲に塔を建立しました。昭和四十四年五月には（財）沖繩協会（南方同胞後援会）により改修工事が行われ、今では八〇〇余柱の御霊が祀られています。毎年旧暦の八月十五日には、南上原の住民により、清掃作業と慰霊祭が実施されていますが、県内外からも多くの参拝者が訪れるそうです。

戦争遺跡の意義

沖繩戦が終結を迎えて今年で五十八年になります。中城村でもこの糸蒲の地だけでなく、村内外で多数の人々が犠牲になりました。北上原の陣地のような戦争遺跡を調査し、保存することによって、戦争を知らない世代へ史実を正確に伝え、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを考える一助になればと思います。

教育委員会生涯学習課

村吉 早綾佳



案内・お知らせ



試験

■中部農林高校

定時制課程募集

～特別募集生と編入学生～

★特別募集生

中学校を卒業後、高校進学ができなかった勤労者に対して高校教育を受ける機会を与えようとする制度で学力検査が免除になります。

出願資格…勤労者で満20歳

(募集年度の3月31日現在) 以上の者

出願手続…出身中学校からの入学志願書及び調査書、卒業証明書、入学考査料、健康診断書、就業証明書、その他必要書類を添えて手続きすること

出願期間…平成16年2月9日

～2月10日

検査期日…3月11日作文、面接

★特別募集生

高校を中途退学した方に、再就学の機会が与えられる制度です。(但し、退学後1年以上経過している者) 就学して

いた高校での修得単位も認められ、卒業に必要な74単位を修得すれば3カ年で卒業が可能です。

受付期間…平成16年1月7日

～1月9日

午後3時～5時

体験入学…平成16年2月2日

～2月13日

*詳しくは中部農林高校定時制

TEL 973-33578

(午後3時～5時)

■コザ高等学校定時制

特別募集

応募資格…勤労者で平成16年

3月31日現在で20歳以上の者

出願期間…平成16年2月9日

～2月10日

入試期日…3月11日

(1時～3時)

作文、面接

*詳しくはコザ高等学校

定時制課程

TEL 937-3563

(午後2時以降)



お知らせ

■朝鮮半島・台湾出身の

旧軍人等であった方とそ

の遺族の皆様へ

朝鮮半島・台湾出身の日本に永住されている方で、旧日本軍の軍人・軍属等として戦死された方のご遺族や重度戦傷病者の方に弔慰金や見舞金が出給されます。

支給要件や請求手続き等詳しいことは下記窓口、お問い合わせ先にお尋ねください。

◎請求期限…平成16年3月31日

◎請求窓口…村役場健康福祉課 援護担当 (895-2131)

◎お問い合わせ…

沖縄県国保・援護課

(866-2177)

総務省弔慰金等支給業務室

03-3539-7830

03-3539-7831

■原付自転車、軽自動車等の異動手続きはお早めに

軽自動車税は、毎年4月1

日現在の所有者に1年分課税されます。月割りはありません。次のような場合は早めに申告手続きをされるようお知らせします。

①原付自転車(125cc未満)

*所有した場合

所有者の住所都市町村役場へ

*譲渡した場合

新しい所有者の住んでいる

市町村役場へ

*抹消(解体盗難、使用不能等)

中城村役場へ

*転入転出の場合

新住所地の市町村役場へ

②軽自動車、軽二輪

(125cc～250cc未満)

軽自動車協会へ

③小型二輪車(250cc以上)

陸運事務所へ

④小型特殊自動車

(農耕作業用、その他)

定置場の市町村役場へ

*乗用の農耕作業用等を所

有したら標識の交付申請

が必要です。

◎お問い合わせ

中城村役場税務課

895-2131



住宅需要実態調査にご協力ください

国土交通省では、都道府県、市町村の協力のもと、12月1日、全国各地において「平成15年住宅需要実態調査」を行うこととしています。また、本県においては、住宅需要を詳細に把握するために、調査世帯数を追加し、調査を行うこととしています。

この調査は全国の家庭の皆様が、住宅について日頃どの様にお考えになっているかなどを伺うものです。国や地方公共団体の住宅施策を行う上で重要な資料となるものです。本県では一定の抽出方法により無作為抽出した約9,500世帯に調査をお願いすることとなっています。

11月24日から12月7日までの間、統計調査員証を持った調査員が、対象となった世帯を訪問いたしますと同時に、対象となった世帯のまわりの住宅地等を調査いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

問合せ先：中城村役場 建設課 (895-2131)

チャリティーダンスパーティー
シャルウィダンス in 吉の浦 2003

SONGS 櫻領智子 K O B A
 アトラクション HIROPIKO

ダンスタイム とき/2003年12月6日(土) PM6:00開演 6:30開演
 ところ/吉の浦会館(中城村役場) TEL. 895-6994
 ティスコタイム 入場料1,000円
 お楽しみ抽選会 抽. MOJO-2003
 軽飲食コーナー有り

期別	税目	村 県 民 税	固定資産税	軽自動車税
第1期		6月30日	6月2日	6月2日
第2期		9月30日	7月31日	
第3期		12月1日	12月25日	
第4期		2月2日	3月1日	

■納税は簡単便利な
 口座振替を！

村税の納付を忘れがちでは
 ありませんか？

納付の手間が省けるなど便
 利な口座振替を利用して下さ
 い。指定された預金口座から
 自動的に払い込まれるので、
 納期の度に金融機関へ行く必
 要がありません。(領収書は各
 納期後にお送りします。)

なお、振替手数料は村が負
 担します。

2004おきなわマラソン参加者募集!!

- 開催期日:2004年2月22日(日)(第4日曜日)(雨天決行)
- 参加料:1)フルマラソン:一般4,000円、18歳未満3,000円
 2)一般10km 2,000円 3)高校10km 500円(但し学校単位)
- 参加方法:第一次締切(現金書留及び郵便振込のみ):11月1日
 (土)から12月5日(金)(締切日必着)、第二次締切(窓口受付):12
 月8日(月)から12月21日(日)、インターネット及びチケットびあ
 受付:11月1日(土)から12月28日(日)
- 大会のお問い合わせについては:おきなわマラソン実行委員会
 TEL 098-930-0088 e-mail:info@okinawa-marathon

今大会の参加記念
 商品のデザイン

【申込み手続き】
 役場窓口(各字自治会長宅)
 に申込用紙がありますので、
 必要事項を記入のうえ、金融
 機関窓口にて申込み下さい。
 中城村役場 税務課
 895-2131(内線242)

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

1 11月8日 赤口	月		22 11月29日 先負	月	
2 11月9日 先勝	火	健康相談日(役場) 浜ふれあい事業 北上原ふれあい事業	23 12月1日 赤口	火	天皇誕生日
3 11月10日 友引	水		24 12月2日 先勝	水	北上原ふれあい事業
4 11月11日 先負	木	3歳児健診(吉の浦会館) 平成12.4.3~平成12.6.4生 [受付 1330~1430]	25 12月3日 友引	木	
5 11月12日 仏滅	金	リハビリ教室 [13:00~17:00] 吉の浦会館	26 12月4日 先負	金	御用納め ふれあいもちつき大会(社協)
6 11月13日 大安	土		27 12月5日 仏滅	土	
7 11月14日 赤口	日		28 12月6日 大安	日	
8 11月15日 先勝	月		29 12月7日 赤口	月	
9 11月16日 友引	火	健康相談日(役場) 乳幼児健診(老人福祉センター) [13:30~14:30]	30 12月8日 先勝	火	
10 11月17日 先負	水		31 12月9日 友引	水	
11 11月18日 仏滅	木		1 12月10日 先負	木	元旦 あけましておめでとうございます
12 11月19日 先勝	金		2 12月11日 仏滅	金	
13 11月20日 赤口	土		3 12月12日 大安	土	
14 11月21日 先勝	日		4 12月13日 赤口	日	
15 11月22日 友引	月		5 12月14日 先勝	月	御用始め
16 11月23日 先負	火	健康相談日(役場) 奥間ふれあい事業 当間ふれあい事業	6 12月15日 友引	火	健康相談日(役場) 北上原ふれあい事業
17 11月24日 仏滅	水	リハビリ教室クリスマスパーティー [13:00~17:00]	7 12月16日 先負	水	新春村民の集い(商工会) リハビリ教室作品づくり [受付 9:00~17:00]
18 11月25日 大安	木	歯科検診(吉の浦会館) 平成14.10.10~平成14.12.18生 [受付 1300~1330] 平成13.6.10~平成13.8.18生 [受付 1430~1500]	8 12月17日 仏滅	木	
19 11月26日 赤口	金		9 12月18日 大安	金	
20 11月27日 先勝	土		10 12月19日 赤口	土	乳児一般健診(吉の浦会館) 平成15.7.12~平成15.10.10生 [受付 1300~1330] 平成15.2.12~平成15.5.10生 [受付 1430~1500]
21 11月28日 友引	日	フリーマーケット(商工会)	11 12月20日 先勝	日	成人式(教委)

中城村の人口

平成15年10月末現在

人口 15,249 (+41)
男 7,788 (+23)
女 7,461 (+18)
世帯数 5,089 (+39)

※()内は前月との比較

「自動車税滞納整理強化月間」

平成15年11月15日~平成16年2月15日
まだ納めていない方は、お近くの銀行、農協
等で納めてください。

◎お問い合わせ

自動車税事務所、各県税事務所

訂正とお詫び

広報なかぐすく第122号の15頁、正しくは「情報公開及び個人情報保護審査開設」となるところ「個人情報確保審査会設置」と誤記がありました。

平和を学ぶ

～体験レポート～

戦争の恐ろしさ、平和の大切さを後世に伝え、平和に対する意識の高揚と平和推進の先導的な役割を果たすことを期待され、村内の小・中学生三名が平和推進特使に任命された。三名は去る大戦で原爆による大きな被害を受けた長崎県で平和学習を行った。

今年任命されたのは、中城小学校六年生仲松夏美さん、津霸小学校六年生国吉明奈さん、中城中学校三年生又吉愛里さんの三名。

任命式で新垣村長は、「戦争の悲惨さを肌身で感じ、平和を愛し、思いやりのある人になってほしい。そして長崎で学んだことを友達に広めて下さい」とあいさつした。又吉愛里さんは「長崎県でしっかり平和について学びます」と意気込みをみせた。

平和学習に参加して学んだ事…。

津霸小学校6年 国吉 明奈

私は、九月十七日から十九日まで平和特使として、長崎県へ行きました。平和特使に選ばれたときは、とてもうれしかったです。

でも、遊び半分で行くのではなく、選ばれなかった人たちの分まで学んで、伝えていきたいなと思いました。そのために、事前学習として、宜野湾市立図書館や那覇市石嶺にある図書館へ行ったり、原爆に関する本を借りて読んだりしました。また、西原町中央公民館で行われていた『西原町反戦平和写真展』で、広島・長崎の被爆写真や被爆者が描いた絵などを見に行きました。

私たちは、長崎へ行ったその日に、大浦天主堂や長崎原爆資料館、平和公園に行きました。その中でも、心に残ったのは、長崎原爆資料館で見た「長崎原爆の被害状況図」です。

爆心地からの距離による被害状況を知って「どうして、たった一個の爆弾でこんな恐ろしいことになるのかな」と思いました。そして、その原子爆弾の破壊力のすごさと恐ろしさを感じました。

爆心地から、半径二キロメートルをこえる地域までの建物は、そのほとんどが、全壊全焼で、半径三キロメートルを超えたところでも半壊してしまっただけです。そして、多勢の人が、被爆によって亡くなりました。まだ、その時は無傷であった人

たちの中にも、半年や一年すぎた頃に「原爆症」という髪の毛がぬけたり急に下痢や嘔吐、発熱、その他口からの出血が止まらず、全身に斑点が現れ亡くなった人たちがたくさんいるそうです。

次に心に残ったのは、被爆した人たちの気持ちです。「家族と離れる寂しさ」、「戦争を二度と繰り返してほしくない」という思いが、私の心に強く残りました。

私は、この平和学習を通して、平和の大切さ、戦争の恐ろしさを改めて実感しました。この平和学習で、体験したこと学んだことをいろんな所で生かしたいと思います。

また、平和学習に、参加させてくださった方々、付き添ってくださった方には、本当に感謝しています。ありがとうございました。





むらの話題 *Topics*

10月28日

見つめよう命～保育園児との交流

津覇小学校の四年生は、「見つめよう命」をテーマに地球上の様々な生命の神秘と尊厳について、学習している。児童たちは、これまで、森の命、海の命、沖繩やイラク戦争などで人間の命の尊さを学んでおり、今回は村立第一保育園の乳幼児達との触れあいを通して「人間の命の誕生」を学習した。幼い子どもとの触れあいを体験することで自分より弱い者へ愛情を注ぐ事を学ぶのがねらい。

保育園では、〇歳から五歳児までの年齢別に五つのグループに分かれて学習し、4年生の児童らは保育士の指導のもと、ゲームや会話をとおして保育園児達と接していた。



10月3日



子ども達の情操教育に役立ててほしいと10月3日、ヤギ2頭が津覇小学校に贈られた。

ヤギはフランスやアメリカでミルクやチーズを作るために飼われているアルパインという種類で日本では九州沖繩でしか育てていない珍しい種。2頭は今年の4月に生まれたばかり。体毛は茶色でよく知られている白ヤギとは違うことに子ども達は驚いた様子だった。

子ヤギは一瞬にして児童達の人気者となり、飼育員を代表して新垣花莉さんは「たくさんの友達を楽しみにしていた。大切に育てていきます」とあいさつした。

ヤギを贈呈した新城さんは「大切に育てれば、一緒に散歩もできるようになる。仲良くして下さい」と飼育員に2頭の餌と散歩用の紐が贈られた。平瀬校長は「動物を飼うことで命の大切さを学び、心やさしい人になってほしい」と話した。

ようこそ！ヤギさん
津覇小学校へ

10月9日

中城中、念願の総合優勝！



去る10月9日に行われた「中城地区中学校陸上競技大会（Aブロック）」が県総合運動公園で開催され中城中学校が総合の部・女子の部で優勝を果たした。

この総合優勝は、中城中学校始まって以来のことで、生徒を始め指導者、関係者はこの快挙を喜んだ。男子の部は4位となっている。

また、各競技で1位の選手は10月25日に行われた沖縄県陸上競技大会に出場しており中城中学校からは5名の選手がエントリーした。

結果は宮城理奈さん（2年）が女子100mを12秒9で1位。伊佐啓太くん（3年）は走幅跳6m35、知念めぐみさん（1年）は走幅跳5m59でそれぞれ2位と健闘した。

11月3日

功労者・善行者表彰式

【功労者】

眞屋 哲夫	仲松 彌盛
伊佐 吉天	桃原 廣一
比嘉 善榮	新垣 善一
新垣 盛昌	仲家 根一
小浜 晴香	仲村 一男
新垣 貴美子	新垣 省吾

【善行者】

上原 清善	岸本 静江
新日本石油精製株式会社	

菊薫る文化の日、それぞれの分野で献身的な努力をしてきた15名の方々が村功労者・善行者として表彰された。
新垣村長は「今後も村民のよきアドバイザーとして、ご協力を賜りたい」と村政の発展、住民の福祉の向上に尽力を尽くされたことに感謝した。受賞者を代表して眞屋哲夫さんは「今後は一住民として、村政に尽くしていきたい」とあいさつした。



11月9日、「城の文化と魂を、この島全体に轟かせ！」をテーマに、中城中学校文化祭が行なわれた。午前中は展示発表があり、各学年とも総合学習で学んだことを発表した。特に2年生は、職場体験を通して学んだことをプレゼンテーションソフトを使って発表した。農業体験をした生徒は「仕事はとてもきつかったが、やっているうちにとても楽しくなった。また、責任の重さも学んだ」とまとめた。

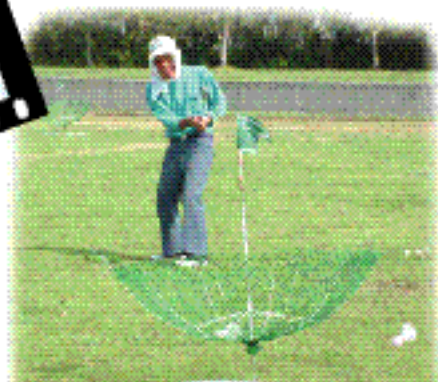
そのほかにも飛行機の整備師や沖縄県理蔵文化センターでの体験学習などの発表もあった。舞台発表では、理科の先生方によるおもしろ

実験や森川養護学校の生徒を交えた手話を使った歌の発表も行なわれ、日頃の学習の成果を発表した。

11月9日

中城中学校文化祭

いい汗をかこう！



10月12日、体育の日にちなんで日頃の運動不足を解消しようとしてターゲット・パドゴルフとグラントゴルフの2競技が行われた。ターゲット・パドゴルフは、パドミントンの羽根のようなものをつけたゴルフボールをゴルフクラブで打ち、傘を逆さにしたようなホールに入るまでの打数を競うゲーム。誰でも気軽に楽しめるユニ・スポーツとして人気があるスポーツで、参加者は秋晴れのもと、汗を流した。

平和を願う



11月1日、全戦没者慰霊祭が村郷の塔で行われた。新垣村長は「沖縄は58年前、唯一の地上戦で多くの命が奪われた。御霊の犠牲に報いるためにも、我々はこの悲惨な経験から学んだ平和の大切さを世界へ発信すべきである」と追悼の言葉を述べた。また、児童生徒を代表して、中城中学校生徒会長の伊佐啓太くんは「中城のように緑や青く美しい海に囲まれ、誰もがこの自然を愛する事が平和と考える。命どう宝」という言葉のように世界の人たちが命を大切にすることを願う」とあいさつした。

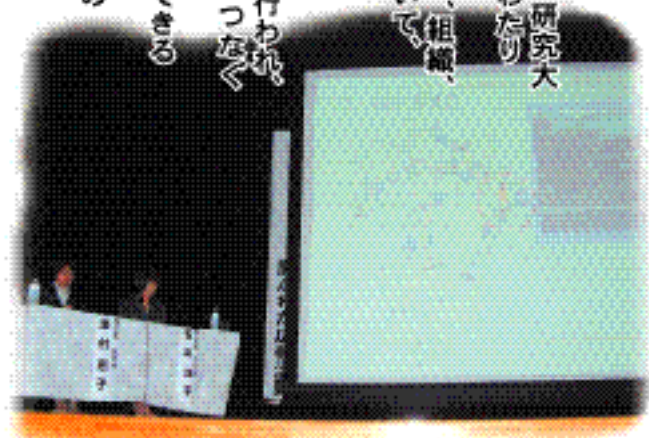
チャーガンじゅうで



9月15日の敬老の日に行われた。会には二百名以上の高齢者の方々が出席しており、参加者はかきやで風などの余興を楽しんだ。また、同日の午前中には新百歳の儀間カナさんと、一〇一歳の比嘉ウシさんのお宅を訪問し、長寿をあやかった。その他、9月4日には、トーカーの慶祝訪問も行われた。

PTA沖縄研究大会

第48回九州ブロックPTA研究大会が10月25日から2日間にわたり沖縄で開催された。県内10カ所でPTAの活動、組織、健全な子ども育成などについて、それぞれの分化会に分かれ討議が行われた。吉の浦会館では、第7分科会「広報活動」について研究が行われ、広報誌は家庭・地域・学校をつなぐ手段でもあることから、テーマの設定や誰もが参画できる広報誌づくりの方法、広報活動を通じた地域情報のネットワーク構築について活発な議論が行われた。



老人・婦人運動会

老人・婦人合同運動会が11月9日吉の浦公園で開催された。あいにくの雨模様であったが、参加者達は、日頃の練習の成果を見事に披露した。午前中に行なわれた、婦人の部玉転がしでは、なかなか思うように玉を転がすことができず、珍プレーが続出。また、午後には全員で中城小唄などの演技やリレー競争など、スポーツレクリエーションを通して老人と婦人が触れあい、健康増進を図った。

